

はじめに

平成 28（2016）年度に「瑞穂町生涯学習推進計画【後期計画】」を策定し、生涯学習社会の実現をめざしてきました。

この間、町民の皆様のご理解とご協力により、計画してきた各施策・事業を推進できましたことに深く感謝申し上げます。

このたび、前計画の期間が満了するにあたり、これまでの生涯学習推進施策の成果と課題を検証するとともに、この4年間で生じた社会環境の変化と新たなニーズや課題、そして、国の「第3期教育振興基本計画」をはじめとする教育施策の方向性などに対応するため、新たな『第2次瑞穂町生涯学習推進計画』を策定いたしました。子どもから高齢者の方まで、町民の誰もが、いつでも、どこでもそれぞれの学びを高め、豊かな心を育てていただきたいと考えております。

瑞穂町教育委員会では、平成 13（2001）年度に生涯学習団体登録制度を立ち上げ、団体・グループ・サークル等への活動支援として、公的施設の使用料減免や印刷機の貸出しを行い、積極的に支援してきました。令和元年度、「第2次瑞穂町教育基本計画（学校教育）」を策定し、基本方針として生涯学習の推進と施設・環境の整備について方向性を示した上で、学校教育と社会教育の連携をはかり、総合的に教育施策を推進していくこととしました。

また、昭和 48（1973）年に建設された図書館はその後、郷土資料館の併設や増築が行われましたが、設備の老朽化に伴い、令和3年度中のリニューアルオープンを目途に改修が行われています。新たな図書館では、町民等のご意見も取り入れた図書館改修工事基本計画に基づき、「本や人とゆるやかにつながり、自分の居場所と感じられる図書館」をコンセプトに、これまで以上に町民が利用しやすい図書館とすべく改修をすすめています。改修後の図書館は、個人や団体等の生涯学習をすすめていく上での知識習得や情報の収集に大いに寄与できることから、本計画に図書館の利活用を位置付けました。

最後に、計画策定にあたりご尽力をいただきました瑞穂町社会教育委員をはじめ、意見募集等を経て町民の皆様のご意見も参考とさせていただくことができたことに心から感謝申し上げます。

瑞穂町教育委員会 教育長 鳥海 俊身